

平成30年度学校自己評価システムシート (県立大宮東高等学校)

目指す学校像	安全・安心な環境の下、文武両道を旨とし、正義感溢れる心身ともに健康な生徒を育てる学校
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の能力を最大限に引き出す授業を実践し、自主学習する習慣を確立させ、確かな学力の定着を図る。 2 組織的・計画的なキャリア教育を通して、生徒が主体的に一つ上を目指し進路を実現できる能力を培う。 3 生徒指導の充実と部活動等の活性化を図り、安全・安心な環境の下、高い規範意識と豊かな人間性を持った生徒を育成する。 4 保護者や地域と密接に連携し、地域に信頼される開かれた学校づくりをする。
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	12名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					年度評価(2月1日現在)	
年度目標					年度評価(2月1日現在)	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<ul style="list-style-type: none"> □現状 <ul style="list-style-type: none"> ・授業にまじめに取り組む生徒が多いが、基礎学力が十分でなく自主学習の習慣があまり身につけていない生徒もいる。 □課題 <ul style="list-style-type: none"> ・自主学習の習慣を身に付けさせるとともに、基礎基本の学力定着を重視した「わかる」「できる」授業をさらに展開する必要がある。 	基礎基本を定着させる学習指導と生徒の主体性を育む学力向上の取組	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒の学習意欲を高め、わかる授業を展開し、基礎学力の定着を図る。 ②年次研修、公開授業、教科会等を活用し、授業改善を進める。 ③「朝学習」を含め、主体的に学習に取り組ませ、自主学習の習慣を確立させる方策を進める。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学習意欲の向上、授業満足度に係る授業アンケートの結果。 ②授業改善につながる情報交換や検討の実施状況、教科会の活性化。 ③主体的に学習に取り組む生徒の割合と自主学習の時間。 	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒の授業満足度 80.6%(-3.4)、保護者の授業満足度 89.6%(+0.9)。授業が分かる生徒 77.8%(-0.7)。 ②6.11月に授業研究週間を設定し、授業見学・教科会が広く行われ、各教科で授業改善、自主学習時間を増やす方策について検討がなされた。 ③主体的に学習に取り組んでいる生徒 73.3%。 	B
2	<ul style="list-style-type: none"> □現状 <ul style="list-style-type: none"> ・多岐に渡る進路希望に対し、3年間を見通した進路指導事業を安定的に実施できている。 ・生徒、保護者とも進路指導満足度は比較的高い水準である。 □課題 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の可能性や適性に応じた、より高い進路実現を目指す必要がある。 ・多様な進路希望に応えるため、教員の指導力向上を更に図る必要がある。 	生徒の可能性と主体性を引き出し、「一つ上」の可能性を目指す進路指導の充実	<ol style="list-style-type: none"> ①組織的かつ継続的に3年間を見通した進路指導を行うとともに、生徒・保護者へ十分な情報提供を行い、進路意識を啓発し主体的に進路実現できる生徒を育てる。 ②高大接続改革に伴う受験制度の変更について正確な情報分析と対応を行う。 ③進路実現に向けて、全職員の指導力向上を図り、生徒一人一人の可能性や適性を見極めた進路指導を組織的に行うことで、「一つ上」の目標にチャレンジする生徒を育てる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒の主体性を育む各学年進路行事、分野別指導等の実践状況。進路だより等の進路啓発資料の発行状況。 ②高大接続改革に係る研修会の実施状況や対応状況。 ③生徒の進路希望状況と実現状況、大学受験や公務員試験受験での「一つ上」の目標を目指す取組の状況。補習・面接・小論文等の指導実施状況。職員進路研修の実施状況。模擬試験の分析と活用。 	<ol style="list-style-type: none"> ①各学年との連携で、進路見学会、模擬授業、進路フェスタ等3か年を見通した体系的進路行事を実施。進路啓発を軸とした学年通言も3学年合計27通(4)発行され、生徒、保護者に有益な情報が提供された。 ②高大接続改革推進委員会として、2回の研修会(第1回4月実施、第2回1月(予定)を行うとともに、学校基本方針を踏まえた新教育課程の検討を開始した。 ③12月末までに95.5%(過去最高)の3年生が進路決定した。大学・短大55.4%(+0.1)専門学校29.2%(+0.7)就職15.4%(+0.8)とは非等年並み。教員研修は5月に1回(専門学校指導)実施。進路指導満足度は生徒70.2%(+3.6) 保護者85.5%(+1.7) 	A
3	<ul style="list-style-type: none"> □現状 <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をはじめ、基本的な生活習慣等は概ね確立しているが、生徒の登下校時における自転車危険運転等の苦情も数件ある。 ・9割の生徒が部活動に所属し、県大会や関東大会等で活躍している。 ・生徒の行事への関心は高い。 □課題 <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心に学校生活を送れるよう更なる規範意識の育成。 ・部員の主体性を育み自己実現としての競技実績を向上させる。 ・文化部の活性化と応援体制強化が課題である。 	<p>3年間を見通した、規範意識を高める生徒指導の充実</p> <p>豊かな人間性を育て、目標に向かって主体的に努力する部活動と学校行事の活性化</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒指導部・学年・家庭の連携による生活指導を徹底する。 ②県指定の交通安全教育推進事業や県警指定の自転車マナーアップ推進校の事業を効果的に活用する。 <ol style="list-style-type: none"> ①外部機関との積極的な連携を行い、部活動顧問の指導力向上や効果的な活動を行うことで、全国大会や関東大会等の上位大会への出場実績を維持・向上させるとともに、文化部の活性化を図り、応援体制を強化する。 ②体育祭、文化祭等の行事の機会を活用し、生徒の主体性や自ら考え行動できる生徒を育てる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①遅刻率、指導件数、挨拶の状況。 ②交通安全指導の充実、交通事故件数。 <ol style="list-style-type: none"> ①部活動実績。部活動指導力向上対策の状況。長期的視点に立った、応援強化に係る文化部員数の確保の取組。生徒、保護者の部活動満足度。 ②生徒の学校行事満足度。生徒主体の学校行事の取組の状況。 	<ol style="list-style-type: none"> ①遅刻率平均 0.16%であった。また多くの生徒がしっかりと挨拶をしていた。 ②「高校生の交通安全教育推進校」に指定され、様々な取組を進めたが、登下校時における交通事故報告が増加してしまった。全校集会を始め、様々な場面で自転車関連を中心とする交通安全指導に更に取り組んでいきたい。 <ol style="list-style-type: none"> ①各部活動で切磋琢磨しながら競技力向上を図ることができた。関東大会出場男女別12競技。全国総体出場2競技。部活動顧問を通じて、文化部を含めた顧問間でコミュニケーションを取り部活動活性化を推進した。部活動満足度生徒78.1%(+1.4%) 保護者89.9%(+0.7%) ②生徒主体で学校行事を行うことができた。生徒行事満足度(文化祭体育祭平均)86.8%(-0.2%) 	B
4	<ul style="list-style-type: none"> □現状 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや地域交流により本校への理解が地域に浸透してきている。 □課題 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の活躍ぶりがよりわかるような効果的な広報活動を行い、志願者数の増加につなげる。 ・生徒の対外的な活動を充実させ、保護者と連携して学校行事の充実を図り、開かれた学校づくりを推進する。 	特色ある教育活動の積極的な発信による生徒募集と、地域に信頼される開かれた学校づくりの推進	<ol style="list-style-type: none"> ①学校説明会や中学校訪問の工夫と改善を図る。 ②ホームページやツイッターの充実を図る。 ③保護者が学校行事に参加する機会を組織的に増やす。 ④県教委の委嘱事業や部活動によるボランティア等の地域交流を推進する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学校説明会の参加者数、入試志願者数と参加者の満足度。 ②ホームページやツイッター等の更新回数、アクセス数。 ③保護者や地域の方の学校行事への参加者数。 ④交流・体験、ボランティア活動等、地域交流の推進状況。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学校説明会参加者数2071名(前年比+6)。12/15現在部員数0.96倍(+0.02)、体育科1.11倍(+0.04)。参加者満足度アンケート「良かった」が87.6%(前年比)、自校体験、校額など好評。部員数だけでなく文武両道の実践を認識し、大宮東で学びたい、学ばせたいという声も寄せられた。 ②HP更新ゲーム作り、更新回数443(+58)。ツイッターでの集団行動・自校体験の動画再生回数それぞれ18,500回・6.6万回。 ③体育祭来校者660名、授業公開北開日を増やし昨年を上回った。 ④1学年交流、各校近隣清掃活動ボランティア、文化部の近隣機関イベント参加等(6回)などを実施 	A

学校関係者評価	
実施日	平成31年1月28日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>自主学習時間が少ない状況を踏まえ、日頃の指導を継続する必要がある。また、家庭との連携を深めるためにも、保護者の関心を高める工夫をしてほしい。</p>	
<p>運動好きな、規律正しい生徒が多いという生徒の特色を生かした進路指導を期待する。また、先生方の体験など生の声を聴く機会があると、生徒は自らの進路をより身近なこととして受け止められると思う。各学年間での情報共有や連携体制の工夫等をしてはどうか。先生方の教科会や研修会の様子や地域の方々との関わり方など詳しく聞いてみたいと思った。次回は点検・評価、改善策の提示の裏付けとなる資料を用意してほしい。</p>	
<p>挨拶がしっかりとでき、規律正しい姿勢はすばらしい。自転車乗車マナーもよく、交通安全に対する意識も高いと感じている。更に、こうした意識を高めるためにも、なぜマナーやルールを守るのかということを理解させることが大切だと感じた。</p> <p>部活動での様々な経験は貴重なものである。実績を上げるのは難しいとは思いますが、大いなる期待をしている。また、文化部の活動を発表する機会が更に増えるとよいと思う。</p> <p>本校の魅力や学校生活の様子を学校見学などで見せられるとアピールになると思う。また、本校生徒が出身中学校に指導するような機会が増えればよいと思う。地域の回覧板等を活用し、本校の様子を伝える等の工夫が必要である。</p>	